

GTEC スコアと CEFR-J レベル 関連付け調査報告

2018 年 11 月

1. 背景

ベネッセコーポレーションが実施している、英語コミュニケーションテスト GTEC において、2016 年度から 2017 年度にかけて CEFR レベルの関連付けを行い、Pre-A1/A1、A1/A2、A2/B1、B1/B2、B2/C1 の各閾値を設定した。

GTEC では、受検者や学校の先生に対して、これまでは GTEC が独自に開発した「GTEC グレード」での成績結果のフィードバックを行っていたが、近年の日本の英語教育の指導や評価の指標として、CEFR が徐々に浸透しつつあることを踏まえ、2019 年度以降、GTEC 受検者や先生方へのフィードバックとして CEFR を用いることを決定した。

ただ、現状の日本の高校生の英語力は、多くが A1 レベルであり、CEFR の全 6 段階のフィードバックでは、詳細で細やかなフィードバックができないことが課題として挙げられていた。そこで、日本国内の有識者を中心に研究が進められている、CEFR-J に基づいたフィードバックを用いることが決定された。

上記のことから、GTEC と CEFR-J レベルの関連付けを調査することになった。

2. 調査手法

調査手法としては、2016 年度・2017 年度の手法と同様、受容技能のリーディングとリスニングでは **Bookmark Method**、発表技能のライティングとスピーキングでは **Contrasting-Group Method** をベースとした手法 (Council of Europe, 2009) を用いた。

リーディングとリスニングで **Bookmark Method** を用いた理由として、GTEC は IRT でスコアを算出しており、テスト項目ごとに困難度の数値が貼りついているため、それを客観的根拠として用い、それに加えてパネルの知見を加えた分析を入れることで、より適正に閾値設定ができると判断した。

ライティングとスピーキングで用いた **Contrasting-Group Method** は、受検者の解答パフォーマンスを能力値の順に並べて閾値を決定する方法である。マニュアルに記載されている手法に加え、リーディングとリスニング同様に、GTEC が IRT を用いてスコア算出している特徴を活かして、IRT のデータをもとにして分析を行った。IRT データに加えて、実際の受検者の算出データを詳細に分析することにより、より現実に即した閾値設定ができると判断した。

3. 分析参加者

パネルは CEFR-J 科研メンバーである、東京外国語大学大学院の根岸雅史教授、投野由紀夫教授、玉川学園大学の工藤洋路准教授の 3 名が参加した。なお、この 3 名は全員、2016 年度の CEFR 関連付け調査にも参画し、CEFR、CEFR-J とともに精通したメンバーで、共通参照枠としての各レベルの枠組みの理解のみならず、英語特定の言語特徴についての知識も深いメンバーであった。また、パネルの他に、GTEC の作問・制作に関わっている編集者 7 名も調査に加わった。

4. 使用データ

GTEC は、Advanced タイプ、Basic タイプ、Core タイプ、CBT タイプと 4 タイプあるが、今回の調査では、各 CEFR の能力レベルに合わせたタイプを主に使用した。A1.2、A1.3 の閾値を決定する際は、主に中学生向けの Core タイプ、A2.2 の閾値を決定する際は、高校生低学年向けの Basic タイプ、B1.2 の閾値を決定する際は、高校生高学年向けの Advanced タイプを使用した。なお、スピーキング技能については、現行の GTEC では、Advanced/Basic タイプと Core タイプのラインナップのため、A2.2 の閾値決定においても Advanced/Basic タイプを使用した。

リーディングとリスニングは、過去に実施したテスト版を 2 版使用した。ライティングとスピーキングは、過去に実施したテスト版 1 版の実施結果から、任意で受検者の解答パフォーマンスを抽出し、分析に使用した。

5. 閾値設定範囲

GTEC (CBT を除く、Advanced, Basic, Core タイプ) では、B2 下位までの測定範囲となるため、本調査の閾値設定範囲は、B2 レベル以上を含まない、A1.2 レベルから B1.2 までとした。

6. 技能別検討プロセス

<リーディング A1.2>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Reading A1.1]

- ・「駐車禁止」、「飲食禁止」等の日常生活で使われる非常に短い簡単な指示を読み、理解することができる。
- ・ファーストフード・レストランの、絵や写真がついたメニューを理解し、選ぶことができる。

[Reading A1.2]

- ・簡単なポスターや招待状等の日常生活で使われる非常に短い簡単な文章を読み、理解することができる。
- ・身近な人からの携帯メールなどによる、旅の思い出などが書かれた非常に短い簡単な近況報告を理解することができる。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR・J レベルの特徴の検討

GTEC のリーディングでは、上記 CEFR・J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR・J のディスクリプタに書かれている A1.1 および A1.2 レベルの人が、GTEC のタスクではどのようなことができるかを、GTEC のテスト項目を参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Reading A1.1]

・曜日や月を表した英語や、身の回りの範囲の語句（日常生活や天気など）の意味を理解することができる。

[Reading A1.2]

・身の回りの範囲の語句が使われた 1 文程度の英語であれば、内容を理解することができる。

◆検討

A1 レベルの閾値が 60、A2 レベルの閾値が 150 なので、その間の素材を見ながら、検討を行った。Part B の概要把握・情報検索問題のタスクは難易度が高いため、Part A の語彙・語法問題のテスト項目で、A1.1 と A1.2 の閾値を検討した方が良いということになった。スコア 52 のテスト項目は、使用語彙が易しいことに加えて、1 文が短く、雨

（Rainy）や傘（Umbrella）といった語彙の理解ができれば正答を絞り込むことができる問題であったため、A1.1 レベルでも対応可能と判断した。一方、スコア 87 のテスト項目は、1 文が長く、文全体を読み通さなければ、ふさわしい語彙を選択するのが難しい問題となっているため、このあたりが両レベルの境目と判断した。以上のことから、A1.2 の閾値は 80 という結論に達した。

<リーディング A1.3>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Reading A1.2]

- ・簡単なポスターや招待状等の日常生活で使われる非常に短い簡単な文章を読み、理解することができる。
- ・身近な人からの携帯メールなどによる、旅の思い出などが書かれた非常に短い簡単な近況報告を理解することができる。

[Reading A1.3]

- ・簡単な語を用いて書かれた、スポーツ・音楽・旅行など個人的な興味のあるトピックに関する文章を、イラストや写真も参考にしながら理解することができる。
- ・簡単な語を用いて書かれた、挿絵のある短い物語を理解することができる。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR-J レベルの特徴の検討

GTEC のリーディングでは、上記 CEFR-J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR-J のディスクリプタに書かれている A1.3 レベルの人が、GTEC のタスクではどのようなことができるかを、GTEC のテスト項目を参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Reading A1.2]

- ・身の回りの範囲の語句が使われた 1 文程度の英語であれば、内容を理解することができる。

[Reading A1.3]

- ・簡単な語を用いて書かれた、簡単なゲームの説明などにおいて、複数の箇所にもたがる情報を把握することができる。また、キーワードを頼りに、自分に必要な情報を探することができる。

◆検討

A1.2 レベルの閾値が 80、A2 レベルの閾値が 150 なので、その間の素材を見ながら、検討を行った。Part B の情報検索問題のスコア 100 のテスト項目を見ると、“Cooking Contest” という身の回りの生活で見られるポスターのため、質問に対する検索対象箇所が見つけやすい。また、その該当箇所の 1 文を理解できれば、正答を導き出すことができ

るため、A1.2 の項目であると判断した。一方、スコア 118 のテスト項目では、簡単なゲームの説明がテーマとなっており、複数の箇所にもたがう情報に目を通した上で正答を導き出す必要があるため、A1.3 に該当する項目であるという判断をした。以上のことから、A1.3 の閾値は 110 が妥当であるという結論に達した。

<リーディング A2.2>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Reading A2.1]

- ・簡単な語を用いて書かれた人物描写、場所の説明、日常生活や文化の紹介などの、説明文を理解することができる。
- ・簡単な語を用いて書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。

[Reading A2.2]

- ・簡単な英語で表現されていれば、旅行ガイドブック、レシピなど実用的・具体的で内容が予想できるものから必要な情報を探すことができる。
- ・生活、趣味、スポーツなど、日常的なトピックを扱った文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出したりすることができる。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR-J レベルの特徴の検討

GTEC のリーディングでは、上記 CEFR-J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR-J のディスクリプタに書かれている A2.1 および A2.2 レベルの人が、GTEC のタスクではどのようなことができるかを、GTEC のテスト項目を参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Reading A2.1]

- ・公共施設のポスターなどにおいて、並列に書かれた情報を理解し、必要な情報を探すことができる。

[Reading A2.2]

- ・イベントの案内文などにおいて、複数の情報を組み合わせたり、補足的な条件を的確に読み取ったりすることで、自分に必要な情報を探すことができる。
- ・具体的なテーマや内容を扱った、5～6 文程度の文章において、要点を理解することができる。

◆検討

A2 レベルの閾値が 150、B1 レベルの閾値が 220 なので、その間の素材を見ながら、検討を行った。Part B の情報検索問題のスコア 153 のテスト項目は、単純な 2 つの情報を組み合わせれば正答にたどり着くことができ、また、広告の中の大事な情報が太字で表記され

ていて、該当箇所も見つけやすいため、A2.1 レベルの項目であると判断した。一方、スコア 184 のテスト項目では、イベントの案内書からショーの曜日、開催時刻の情報を組み合わせながら読み取る必要がある。それに加えて、“NOTE”と書いてある備考欄の情報（補足的な情報）を読み、ショー開始の 30 分前には到着している必要があるという注意点を的確に把握した上で、正答を導く必要のある問題であった。このように、複数の情報を組み合わせながら、補足的な情報も的確に読み取る力が求められるため、A2.2 と判断した。

さらに、Part B の概要把握問題のテスト項目でも検証した。スコア 178 のテスト項目は、ある動物の特性について述べたまとまりのある説明文を読む問題だが、解答選択肢が本文中と似た表現で提示されており、要点をつかみやすかった。一方、スコア 183 のテスト項目では、正答となる選択肢がやや抽象的であり、文章全体の概要を把握するのがスコア 178 のテスト項目と比べて難しい問題であった。以上のことから、A2.2 の閾値は 180 という結論に達した。

<リーディング B1.2>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Reading B1.1]

- ・学習を目的として書かれた新聞や雑誌の記事の要点を理解することができる。
- ・ゲームのやり方、申込書の記入のしかた、ものの組み立て方など、簡潔に書かれた手順を理解することができる。

[Reading B1.2]

- ・インターネットや参考図書などを調べて、文章の構成を意識しながら、学業や仕事に関係ある情報を手に入れることができる。必要であれば時に辞書を用いて、図表と関連づけながら理解することができる。
- ・平易な英語で書かれた長めの物語の筋を理解することができる。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR-J レベルの特徴の検討

GTEC のリーディングでは、上記 CEFR-J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR-J のディスクリプタに書かれている B1.1 および B1.2 レベルの人が、GTEC のタスクではどのようなことができるかを、GTEC のテスト項目を参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Reading B1.1]

- ・より社会的な内容が書かれた新聞や雑誌の記事などの 3～4 パラグラフ程度の英文について、自身の興味・関心の範囲の少し先にある情報における要点を理解することができる。

[Reading B1.2]

- ・自身の興味・関心から少し離れたテーマやその内容や、やや複雑な英文で構成された文章でも、必要な情報を的確に読み取ったり、文章全体の構成を把握して、要点や各部の詳細を理解したりすることができる。

◆検討

B1 レベルの閾値が 220、B2 レベルの閾値が 280 なので、その間の素材を見ながら、検討を行った。B1.1 レベルの CEFR-J ディスクリプタでは「学習を目的として書かれた新聞や雑誌の記事の要点を理解することができる」とある。Part B の概要把握問題のスコア

222、スコア 226 のテスト項目は、新聞や雑誌の記事のような、社会的な内容がわかりやすく書かれた英文の要点理解を測る問題であるため、これらの項目は B1.1 と判断した。

一方、Part C の要点理解問題のスコア 272 のテスト項目では、人間の嗅覚に関するやや複雑な英文で構成された長めの文章が扱われており、パラグラフごとの詳細を理解した上で文章全体の要点理解をする必要があり、確実に B1.2 レベルの項目であると判断した。以上のことから、B1.2 の閾値は 250 という結論に達した。

<リスニング A1.2>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Listening A1.1]

- ・当人に向かって、ゆっくりはっきりと話されれば、「立て」「座れ」「止まれ」といった短い簡単な指示を理解することができる。
- ・日常生活に必要な重要な情報（数字、品物の値段、日付、曜日など）を、ゆっくりはっきりと話されれば、聞きとることができる。

[Listening A1.2]

- ・趣味やスポーツ、部活動などの身近なトピックに関する短い話を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。
- ・日常生活の身近なトピックについての話を、ゆっくりはっきりと話されれば、場所や時間等の具体的な情報を聞きとることができる。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR-J レベルの特徴の検討

GTEC のリスニングでは、上記 CEFR-J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR-J のディスクリプタに書かれている A1.1 および A1.2 レベルの人が、GTEC のタスクではどのようなことができるかを、GTEC のテスト項目を参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Listening A1.1]

- ・身の回りの範囲の語句（baseball, school, library など）や、基本的なあいさつの聞き取りができる。
- ・“Do you like soccer?” などの定型的な表現を聞いて、その意味を理解することができる。
- ・英語で曜日や月、時間を聞いて、理解することができる。

[Listening A1.2]

- ・明確に指示をされれば、自分のすべきことが理解できる。
- ・身の回りの範囲の語句を使った 1 文程度の英語から、必要な情報の聞き取りができる。

◆検討

A1 レベルの閾値が 70、A2 レベルの閾値が 160 なので、その間の素材を見ながら、検討を行った。Part B の会話応答問題のスコア 83 のテスト項目は “Do you play <スポーツ

名>?”という、受検者が頻繁に触れる問いかけで、定型的な表現であるとともに、正答選択肢が質問に対して明確な応答となっているため、A1.1 レベルの項目であると判断した。一方、Part B の会話応答問題のスコア 94 のテスト項目は「お兄さんはあなたの誕生日に何をしてくれましたか」という問いかけで、この表現自体、受検者にあまりなじみがなく、定型表現の域を超えている。また、様々な応答が考えられる質問であることや、音声で流れる 3 つの解答選択肢それぞれに異なる文法項目が用いられており、内容を理解するのに時間がかかることから A1.2 レベルの項目であると判断した。以上のことから、A1.2 の閾値は 90 という結論に達した。

<リスニング A1.3>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Listening A1.2]

- ・趣味やスポーツ、部活動などの身近なトピックに関する短い話を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。
- ・日常生活の身近なトピックについての話を、ゆっくりはっきりと話されれば、場所や時間等の具体的な情報を聞きとることができる。

[Listening A1.3]

- ・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や自分の家族・学校・地域などの身の回りの事柄に関連した句や表現を理解することができる。
- ・(買い物や外食などで) 簡単な用をたすのに必要な指示や説明を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR-J レベルの特徴の検討

GTEC のリスニングでは、上記 CEFR-J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR-J のディスクリプタに書かれている A1.3 レベルの人が、GTEC のタスクではどのようなことができるかを、GTEC のテスト項目を参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Listening A1.2]

- ・明確に指示をされれば、自分のすべきことが理解できる。
- ・身の回りの範囲の語句を使った 1 文程度の英語から、必要な情報の聞き取りができる。

[Listening A1.3]

- ・明示的でない表現で指示をされても、自分のすべきことが理解できる。
- ・質問とそれに対する応答を聞いて、その内容を理解することができる。また、間接的に応答がなされている場合でも、その意味をある程度理解できる。

◆検討

A1.2 レベルの閾値が 90、A2 レベルの閾値が 160 なので、その間の素材を見ながら、検討を行った。A1.1 から A1.2、そして A1.3 へ英語力が上がるステップについて、A1.1 レベルは定型文の聞き取りができる段階、A1.2 レベルでは非定型文のものに対応できるように

なる段階、A1.3 レベルになると、さらに非定型文に加えて、間接的、または非明示的な表現も理解できる段階になるということが話し合われた。そのことを念頭に、Part B の会話応答問題のテスト項目を検討した。スコア 118 のテスト項目は、「どのような本を図書館で借りたか」という問いかけに対して、「音楽についてのものを選んだ」という解答選択肢を選ぶ問題で、問いと応答の関係が明示的であり、A1.2 レベルでも対応可能と判断した。一方、スコア 131 のテスト項目は、「このポップグループの最新のCDが好きか」という質問に対し、どの解答選択肢も音楽やCDについての英文となっており、単語レベルの聞き取りを越え、文としての意味理解が求められる。また、正答となる応答も「(彼らのCDを) 聞くのをとても楽しんだ」と明示的ではなく、問いかけと応答の関係が直接的ではないため、A1.3 レベルの項目であると判断した。以上のことから、A1.3 の閾値は 130 という結論に達した。

<リスニング A2.2>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Listening A2.1]

- ・ ゆっくりはっきりと放送されれば、公共の乗り物や駅や空港の短い簡潔なアナウンスを理解することができる。
- ・ 学校の宿題、旅行の日程などの明確で具体的な事実を、はっきりとなじみのある発音で指示されれば、要点を理解することができる。

[Listening A2.2]

- ・ スポーツ・料理などの一連の行動を、ゆっくりはっきりと指示されれば、指示通りに行動することができる。
- ・ 視覚補助のある作業（料理、工作など）の指示を、ゆっくりはっきりと話されれば、聞いて理解することができる。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR-J レベルの特徴の検討

GTEC のリスニングでは、上記 CEFR-J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR-J のディスクリプタに書かれている A2.1 および A2.2 レベルの人が、GTEC のタスクではどのようなことができるかを、GTEC のテスト項目を参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Listening A2.1]

- ・ 3 文程度の英文を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。数値や時間などの詳細な情報も聞き取ることができる。

[Listening A2.2]

- ・ 文と文の関係を把握しながら聞き、5 文程度のまとまりのある英文の内容を概ね理解することができる。また、代名詞が含まれる文でも、それが指している内容を理解しながら聞くことができる。
- ・ 非明示的に応答がなされている場合でも、その意味を理解することができる。

◆検討

A2 レベルの閾値が 160、B1 レベルの閾値が 220 なので、その間の素材を見ながら、検討を行った。Part C の課題解決問題のスコア 188 のテスト項目は、家のどこで携帯電話を探

すかという問題で、家の中の様々な場所の名前が出てきて紛らわしい要素はあるものの、「～に携帯電話を持っていった」という最終的な場所が明言されており、数文程度の英文から必要な情報を聞き取れるかを測定できる問題として、A2.1 レベルでも対応可能と判断した。一方、同パートのスコア 203 の問題では、解答のキーとなる情報が 2 文にまたがっているため、情報を統合させて正答を導く必要があり、A2.2 レベルになると判断した。その他にも、スコア 190 以上のテスト項目になると、代名詞が含まれる文でも、それが指している内容を理解しながら聞くなど、文と文の関係に留意しながら、まとまりのある英文や非明示的な内容の理解が求められる問題が多いため、A2.2 の閾値は 190 という結論に達した。

<リスニング B1.2>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Listening B1.1]

- ・外国の行事や習慣などに関する説明の概要を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。
- ・自分の周りで話されている少し長めの議論でも、はっきりとなじみのある発音であれば、その要点を理解することができる。

[Listening B1.2]

- ・自然な速さの録音や放送（天気予報や空港のアナウンスなど）を聞いて、自分に関心のある、具体的な情報の大部分を聞き取ることができる。
- ・はっきりとなじみのある発音で話されれば、身近なトピックの短いラジオニュースなどを聞いて、要点を理解することができる。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR-J レベルの特徴の検討

GTEC のリスニングでは、上記 CEFR-J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR-J のディスクリプタに書かれている B1.1 および B1.2 レベルの人が、GTEC のタスクではどのようなことができるかを、GTEC のテスト項目を参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Listening B1.1]

- ・口語で使われる単語や表現（I haven't seen you in ages! / What have you been up to? / Actually,～.など）や難易度の高い単語を含む 1 パラグラフ程度の会話や説明を聞いて、その内容を理解することができる。

[Listening B1.2]

- ・数個のパラグラフから成る情報量の多い講義などを聞いて、その内容の展開を把握しながら、概要や要点を理解することができる。

◆検討

B1 レベルの閾値が 220、B2 レベルの閾値が 290 なので、その間の素材を見ながら、検討を行った。このレベルになると単純な 1 つの要素だけでなく、聞き取るべき情報の量、情報の関係性が強い内容かどうか、英文自体の困難度、課題の困難度などといった様々な要

因で難易度のレベルが変化してくるため、異なる出題パートを参照して複数の観点から検討した。Part C の課題解決問題のスコア 246 のテスト項目は、様々な紛らわしい情報が 1 つのパラグラフにちりばめられており、探しているものが意外性のある場所に置いてある、という難しさはあるものの、キーとなる該当箇所の内容を聞き取ることができれば正答を導くことが可能なタスクとなっている。そのため、B1.1 レベルでも対応可能と判断した。一方、スコア 251 のテスト項目は、タスクのキーの 1 つとなる英文の構造が複雑である上に、第 2 文で発話されるため、そこで理解に戸惑ってしまうと、その後に流れる解答に必要な情報を聞き逃してしまう可能性があることから、難易度が B1.1 とは画していると判断した。また、Part D の要点理解問題のスコア 232 のテスト項目で、昼食に誘う内容の会話を聞く問題では、<should have + 過去分詞>など複雑な構文を用いている点は難易度が高いものの、質問に対する応答はシンプルであり、キーとなる該当箇所の内容を聞き取ることができれば正答を導くことが可能なタスクとなっている。そのため、B1.1 レベルでも対応可能と判断した。一方、スコア 263 のテスト項目で、旅行の何が一番好きだったかについての会話を聞く問題では、旅行中の良かったことを羅列していることから、その語を含む解答選択肢を不正解として排除することが難しく、会話全体の内容を把握しておく必要がある。また質問文では“the best”で問うているが、リスニング音声では、該当箇所に当たる部分が“the most”で表現されているため、単純な聞き取り作業ではなく困難度が高くなっている。これらのことから問題全体としての難易度が上がっており、この問題は確実に B1.2 のレベルに相当する問題と判断した。以上のことから、B1.2 の閾値は 250 という結論に達した。

<ライティング A1.2>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Writing A1.1]

- ・住所・氏名・職業などの項目がある表を埋めることができる。
- ・自分について基本的な情報（名前、住所、家族など）を辞書を使えば短い句または文で書くことができる。

[Writing A1.2]

- ・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好き嫌い、家族、学校生活など）について短い文章を書くことができる。
- ・簡単な語や基礎的な表現を用いて、メッセージカード（誕生日カードなど）や身近な事柄についての短いメモなどを書ける。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR-J レベルの解答パフォーマンスの検討

GTEC のライティングタスクはエッセイのみ（2018 年 11 月時点）である。上記 CEFR-J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR-J のディスクリプタに書かれている A1.1 および A1.2 レベルの人が、GTEC のエッセイライティングではどのようなことができるかを、解答パフォーマンスを参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Writing A1.1]

- ・単語を書くことができるレベル。文になると意味理解を阻害するような文型の誤りが見られる。

[Writing A1.2]

- ・基本的で簡単な単語に関してはつづりを正しく書ける。
- ・1 文の中に動詞を 2 つ書いているような文型の誤りは減り、単純で簡単な定型文が 2、3 文書けるようになるレベル。

◆検討

A1 レベルの閾値が 60、A2 レベルの閾値が 190 なので、その間の解答パフォーマンスを見ながら、検討を行った。A1.1 のライティング力は、正確な文をいくつか書けるレベルには至っていない段階で、文を正しく書けるようになる手前、例えば、表（チャートやフォ

ームなど)を埋めることができるレベルであることが話し合われた。スコア 92 の答案は、英文を書こうとはしているが、単語を羅列しているにとどまっている印象を受ける。一方、スコア 103 の答案では、1 文の中に動詞が 2 つ入るなどの文型の誤りは依然として見られたが、基礎的または定型的なものであれば文を形成する力があると判断した。以上のことより、A1.2 の閾値は 100 という結論に達した。

<ライティング A1.3>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Writing A1.2]

- ・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好き嫌い、家族、学校生活など）について短い文章を書くことができる。
- ・簡単な語や基礎的な表現を用いて、メッセージカード（誕生日カードなど）や身近な事柄についての短いメモなどを書ける。

[Writing A1.3]

- ・自分の経験について、辞書を用いて、短い文章を書くことができる。
- ・趣味や好き嫌いについて複数の文を用いて、簡単な語や基礎的な表現を使って書くことができる。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR-J レベルの解答パフォーマンスの検討

GTEC のライティングタスクはエッセイのみ（2018 年 11 月時点）である。上記 CEFR-J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR-J のディスクリプタに書かれている A1.3 レベルの人が、GTEC のエッセイライティングではどのようなことができるかを、解答パフォーマンスを参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Writing A1.2]

- ・基本的で簡単な単語に関してはつづりを正しく書ける。
- ・1 文の中に動詞を 2 つ書いているような文型の誤りは減り、単純で簡単な定型文が 2、3 文書けるようになるレベル。

[Writing A1.3]

- ・基本的な文や単語を用いて複数の文を書くことができる。ところどころに誤りが見られるが、意味理解を大きく阻害するほどのものではないことが多い。また、その複数の文に繋がりを持たせて、短い文章にすることができる。

◆検討

A1.2 レベルの閾値が 100、A2 レベルの閾値が 190 なので、その間の解答パフォーマンスを見ながら、検討を行った。スコア 111 の答案は、基礎的または定型的な文をкаろうじて

1、2文書くのにとどまっている印象を受ける。一方、スコア 141 の答えは、短い文を 6、7 文書いている。一文一文は短いものの、伝えたいことが理解できる。意味が読み取れない文はほぼなく、基礎的な語彙や表現を用いて複数の文で書けているので A1.3 レベルと判断した。その他のスコア 140 以上の答案を確認しても同じような傾向が見られた。したがって、A1.3 の閾値は 140 という結論に達した。

<ライティング A2.2>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Writing A2.1]

・日常的・個人的な内容であれば、招待状、私的な手紙、メモ、メッセージなどを簡単な英語で書くことができる。

・文と文を **and, but, because** などの簡単な接続詞でつなげるような書き方であれば、基礎的・具体的な語彙、簡単な句や文を使った簡単な英語で、日記や写真、事物の説明文などのまとまりのある文章を書くことができる。

[Writing A2.2]

・身の回りの出来事や趣味、場所、仕事などについて、個人的経験や自分に直接必要のある領域での事柄であれば、簡単な描写ができる。

・聞いたり読んだりした内容（生活や文化の紹介などの説明や物語）であれば、基礎的な日常生活語彙や表現を用いて、感想や意見などを短く書くことができる。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR-J レベルの解答パフォーマンスの検討

GTEC のライティングタスクはエッセイのみ（2018 年 11 月時点）である。上記 CEFR-J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR-J のディスクリプタに書かれている A2.1 および A2.2 レベルの人が、GTEC のエッセイライティングではどのようなことができるかを、解答パフォーマンスを参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Writing A2.1]

- ・基本的な文は書くことができる。
- ・接続詞などを用いて文と文の間に意味の繋がりを持たせることができ、ある程度まとまった量の文章を書くことができる。
- ・“I” で始まる文が多いが、使おうとする文型に少し広がりが見られる。

[Writing A2.2]

・意味のまとまりを意識しながら文章を書くことができる。自分の考えを、体験や経験、具体例を含めて書くことができる。簡単な語句を用いて、伝えたいことを意味理解の阻害なく適切に書くことができる。

◆検討

A2 レベルの閾値が 190、B1 レベルの閾値が 240 なので、その間の解答パフォーマンスを見ながら、検討を行った。従属節などを使って複雑な文章を書く力の基礎が見え始めるのがスコア 220 付近の答案ということが確認された。スコア 212 やスコア 218 の答案は、短い文を基本的な接続詞（and や but など）を用いてつなげて書いている。一方、スコア 224 の答案では、文の長さが徐々に長くなり、また、一部複文を使ったり、for example などの表現を用いたりして、具体的な例を挙げて内容に肉付けできていることが確認された。このことから、スコア 224 の答案は A2.2 レベルであると言える判断した。以上のことより、A2.2 の閾値は 220 という結論に達した。

<ライティング B1.2>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Writing B1.1]

- ・自分に直接関わりのある環境（学校、職場、地域など）での出来事を、身近な状況で使われる語彙・文法を用いて、ある程度まとまりのあるかたちで、描写することができる。
- ・身近な状況で使われる語彙・文法を用いれば、筋道を立てて、作業の手順などを示す説明文を書くことができる。

[Writing B1.2]

- ・新聞記事や映画などについて、専門的でない語彙や複雑でない文法構造を用いて、自分の意見を含めて、あらすじをまとめたり、基本的な内容を報告したりすることができる。
- ・物事の順序に従って、旅行記や自分史、身近なエピソードなどの物語文を、いくつかのパラグラフで書くことができる。また、近況を詳しく伝える個人的な手紙を書くことができる。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR-J レベルの解答パフォーマンスの検討

GTEC のライティングタスクはエッセイのみ（2018 年 11 月時点）である。上記 CEFR-J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR-J のディスクリプタに書かれている B1.1 および B1.2 レベルの人が、GTEC のエッセイライティングではどのようなことができるかを、解答パフォーマンスを参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Writing B1.1]

- ・修飾節を用いた長い文章を書くことができはじめる。複数段落の形を意識して文章を構成し、書くことができる。ただし、段落内ではアイデアを深めきれていない。抽象的な内容であっても、自分の経験に関連付けて考えられるものであれば、様々な文法や単語を用いて文章を書くことができる。しかし、まだ日本語の影響を受けた語彙選択の誤りなどが見られるところがある。

[Writing B1.2]

- ・複雑な構文を用いた長い文をつなげて書くことができる。関連のある情報を、複数の段落を構成して書くことができ、段落の中で議論を深めることもできている。抽象的な内容についても、自分の経験に関連付けて考えられるものであれば、様々な文法や単語を用いて適切な内容の文章を書くことができる。

◆検討

B1 レベルの閾値が 240、B2 レベルの閾値が 300 なので、その間の解答パフォーマンスを見ながら、検討を行った。スコア 240 の答えは、段落構成もしっかりしており、より長い英文が書けているが、段落内で論理的に展開しきれていない点があることから、B1.1 レベルにとどまると考えた。スコア 260 付近の答えを確認し、260 以上の答えは 260 未満の答えに比べて、段落内の情報がより多く、また、客観的な視点が入り、より読み手を意識して書かれているため、スコア 260 あたりが境目になることが確認された。以上のことから、B1.2 の閾値は 260 という結論に達した。

<スピーキング A1.2>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Speaking A1.1]

- ・基礎的な語句、定型表現を用いて、限られた個人情報（家族や趣味など）を伝えることができる。
- ・基礎的な語句、定型表現を用いて、簡単な情報（時間や日時、場所など）を伝えることができる。

[Speaking A1.2]

- ・前もって発話することを用意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単な意見を言うことができる。
- ・前もって発話することを用意した上で、日常生活の物事を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単に描写することができる。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR-J レベルの解答パフォーマンスの検討

GTEC のスピーキングでは4種類のタスクを出題している。しかし、上記 CEFR-J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR-J のディスクリプタに書かれている A1.1 および A1.2 レベルの人が、GTEC のスピーキングではどのようなことができるかを、解答パフォーマンスを参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Speaking A1.1]

- ・単語、もしくは語句レベルで、発話と沈黙が混在している。
- ・言葉が足りなかったり、語順や文法に誤りがあったりするため、伝えたい内容がわかりにくい。

[Speaking A1.2]

- ・簡単な語を使った短い文や定型表現を使って、アイデアを伝えることができるが、語彙や文法に誤りが多いため、適切に伝わらないところがある。
- ・because を正しく使い、理由を述べることができる。

◆検討

A1 レベルの閾値が 80、A2 レベルの閾値が 190 なので、その間の解答パフォーマンスを

見ながら、検討を行った。スピーキングの出題の中で、ある程度の発話量がある **Part C** の 4 コマのイラストをもとにストーリーを英語で話す問題、および **Part D** の意見陳述問題の解答パフォーマンスを参照した。A1 下位であるスコア 80～110 あたりの解答音声を確認する中で、**Part C** の各コマについて、話してはいるが、聞き手にとってわかりにくい内容にとどまっている、かつ **Part D** については、意見と理由が言えていなければ A1.1 レベル、意見と理由がかろうじて言えていれば A1.2 レベルではないかということが確認された。スコア 94 の解答音声は、**Part C** では各コマについて話そうとはしているものの、発話される英文が不完全であった。また、**Part D** においても、意見はかろうじて言えていても、理由までは言えておらず、何を伝えようとしているのか推測するのに大きな負担がかかる内容であった。一方、スコア 104 の解答音声は、理由を述べるときに、接続詞 **because** などを使っていた。また、語彙や文法の使用に誤りがあったり、簡単な定型表現の域を出ていなかったりしているものの、内容を理解するにあたり大きな負担がかからないという点でスコア 94 とは違いがあったことから、このあたりに境目があるとの判断になった。以上のことから、A1.2 の閾値は 100 という結論に達した。

<スピーキング A1.3>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Speaking A1.2]

- ・前もって発話することを用意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単な意見を言うことができる。
- ・前もって発話することを用意した上で、日常生活の物事を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単に描写することができる。

[Speaking A1.3]

- ・前もって発話することを用意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で意見を言うことができる。
- ・前もって発話することを用意した上で、日常生活に関する簡単な事実を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で描写できる。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR-J レベルの解答パフォーマンスの検討

GTEC のスピーキングでは4種類のタスクを出題している。しかし、上記 CEFR-J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR-J のディスクリプタに書かれている A1.3 レベルの人が、GTEC のスピーキングではどのようなことができるかを、解答パフォーマンスを参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Speaking A1.2]

- ・簡単な語を使った短い文や定型表現を使って、アイデアを伝えることができるが、語彙や文法に誤りが多いため、適切に伝わらないところがある。
- ・because を正しく使い、理由を述べることができる。

[Speaking A1.3]

- ・定型表現を脱し、オリジナルの文で伝えることができている。しかし、語彙選択や文法に誤りがあり、意味理解を阻害するものもある。
- ・because や so のような接続詞を使うことができているので、複数の短い文の意味がつながり、アイデアの羅列ではなくなっている。
- ・物事の描写が粗いために、うまく伝えられなかったり、意見や理由もシンプルな内容にとどまっていたりする。

◆検討

A1.2 レベルの閾値が 100、A2 レベルの閾値が 190 なので、その間の解答パフォーマンスを見ながら、検討を行った。Part D の意見陳述問題のスコア 132 の解答音声を確認すると、理由の部分が不完全な英文にとどまっているなど、誤りが目立った。一方、Part C の 4 コマのイラストをもとにストーリーを英語で話す問題のスコア 141 の解答音声を聞くと、意味理解を阻害する誤りは残っているものの、スコア 132 の解答音声に比べると減っていることが確認された。また、同じ受検者の Part D の意見陳述問題の解答音声を確認すると、身近なトピックについての自分の考えを述べるときに、because や so のような接続詞を使用して話をつなげているため、結果的に一文一文が長くなっていた。説得力には欠けているが、理由も複数言えているものや、言おうとしているものも見られた。このような議論から、スコア 140 のあたりに境目があるとの判断になり、A1.3 の閾値は 140 という結論に達した。

<スピーキング A2.2>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Speaking A2.1]

- ・一連の簡単な語句や文を使って、自分の趣味や特技に触れながら自己紹介をすることができる。
- ・写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な句や文を使って、身近なトピック（学校や地域など）について短い話をするすることができる。

[Speaking A2.2]

- ・写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な語句や文を使って、自分の毎日の生活に直接関連のあるトピック（自分のこと、学校のこと、地域のことなど）について、短いスピーチをすることができる。
- ・一連の簡単な語句や文を使って、意見や行動計画を、理由を挙げて短く述べることができる。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR-J レベルの解答パフォーマンスの検討

GTEC のスピーキングでは4種類のタスクを出題している。しかし、上記 CEFR-J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR-J のディスクリプタに書かれている A2.1 および A2.2 レベルの人が、GTEC のスピーキングではどのようなことができるかを、解答パフォーマンスを参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Speaking A2.1]

- ・that 節や副詞、形容詞などを入れて、長い文を述べることができる。
- ・時制の不一致などは時々見られるが、意味理解を阻害するような語彙・文法の誤りは減少しているため、内容は理解することができる。
- ・簡単な内容のストーリーならば、かろうじて全体像を伝えることはできるが、難しい内容であれば、出来事の要因などは伝えられなかったり、英語の間違いが多くて理解しがたい。

[Speaking A2.2]

- ・身近なトピックであれば、まとまりのある短い話をするすることができる。
- ・ストーリーに、より詳細な説明を加えることができるが、稚拙な表現がやや残る。
- ・シンプルではあるが、適切な語句や文を使って説明することができる。

◆検討

A2.1 レベルの閾値が 190、B1 レベルの閾値が 280 なので、その間の解答パフォーマンスを見ながら、検討を行った。まず、スコア 220 未満の解答音声を確認した。Part C の 4 コマのイラストをもとにストーリーを英語で話す問題の解答音声を確認すると、意味理解を阻害するような語彙・文法の誤りはそれほど多くなかったが、話が複雑な場面や、「追いかける」など、使用頻度があまり高くない状況を説明する場面では、ストーリーの内容が一部伝えられていないものがあった。一方で、スコア 220 以上の解答音声では、4 コマすべてを描写し、ストーリーの基本的な内容が伝えられており、スコア 220 未満の解答音声とは差が確認された。以上のことから、A2.2 の閾値は 220 という結論に達した。

<スピーキング B1.2>

◆ディスクリプタの確認

CEFR-J

[Speaking B1.1]

- ・使える語句や表現を繋いで、自分の経験や夢、希望を順序だて、話を広げながら、ある程度詳しく語ることができる。
- ・自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について語ることができる。

[Speaking B1.2]

- ・短い読み物か短い新聞記事であれば、ある程度の流暢さをもって、自分の感想や考えを加えながら、あらすじや要点を順序だてて伝えることができる。
- ・自分の関心事であれば、社会の状況（ただし自分の関心事）について、自分の意見を加えてある程度すらすらと発表し、聴衆から質問ができれば相手に理解できるように答えることができる。

(CEFR-J 日本語版 Version1.1)

◆GTEC の出題タスクに即した各 CEFR-J レベルの解答パフォーマンスの検討

GTEC のスピーキングでは4種類のタスクを出題している。しかし、上記 CEFR-J のディスクリプタにあるタスクを必ずしも課しているわけではないため、CEFR-J のディスクリプタに書かれている B1.1 および B1.2 レベルの人が、GTEC のスピーキングではどのようなことができるかを、解答パフォーマンスを参照しながら検討した。各レベルの特徴は下記の通りである。

[Speaking B1.1]

- ・短い具体例を入れるなど、ある程度詳しく意見や理由を言うことはできるが、内容は深められておらず、発話している情報量が（B1.2 と比較すると）少ない。
- ・ある程度順序だて、情報を整理して話すことができる。
- ・身近なトピックであれば、適切な語を使ってわかりやすく説明できる。しかし、社会的なトピックなど、やや抽象的なテーマに対する意見や理由をメモなしで話す場合には、適切な語や文法が使えていないなど、自分の言いたいことを的確に表現できていない部分がある。
- ・使用している語や文法の幅が広がる。

[Speaking B1.2]

- ・ある程度の流暢さを持って自分の意見を伝えることができる。

- ・効果的に情報を付加しながら説明することができる。
- ・語彙や文法の使い方が適切であるため、理解に影響が出る誤りはほぼ見られない。
- ・ストーリーを描写する際、出来事だけでなく、当事者の感情も入れながら、効果的に伝えることができる。

◆検討

B1 レベルの閾値が 280、B2 レベルの閾値が 320 なので、その間の解答パフォーマンスを見ながら、検討を行った。スコア 300 付近の解答音声を確認した。スコア 300 未満の解答音声に比べて、スコア 303 や 305 の解答音声は、Part C の 4 コマのイラストをもとにストーリーを英語で話す問題においては、より詳細に描写することができているため、出題の中で与えられているイラストを見なくても、聞き手が状況の詳細を思い浮かべられるほど、細やかな描写ができていた。また、同じ受検者の Part D の意見陳述問題の解答音声を確認したところ、社会的なトピックについて自分の考えを述べる際に、理解に支障が出るような誤りはほとんどなく、適切に語彙や文法を使用していることが確認された。また、スコア 300 未満の解答音声と比べて流暢さが増しているという特徴があった。以上のことから、B1.2 の閾値は 300 という結論に達した。

7. 結果

今回の調査結果を踏まえ、最終決定した GTEC の CEFR-J 対応スコアは下記となる。

<GTEC の CEFR-J 対応表>

CEFR-J	リーディング	リスニング	ライティング	スピーキング	トータル
C1	330	340	340	340	1350
B2	280	290	300	320	1190
B1.2	250	250	260	300	1060
B1.1	220	220	240	280	960
A2.2	180	190	220	220	810
A2.1	150	160	190	190	690
A1.3	110	130	140	140	520
A1.2	80	90	100	100	370
A1.1	60	70	60	80	270
Pre-A1	0	0	0	0	0

注：網掛け部分は、2016 年度に行った「GTEC スコアと CEFR レベル関連付け調査報告」、および 2017 年度に行った「GTEC スコアと CEFR レベル関連付け調査報告～Pre-A1/A1 レベル追加調査～」で設定されたものである。

参考文献

Council of Europe. (2018). COMMON EUROPEAN FRAMEWORK OF REFERENCE FOR LANGUAGES: LEARNING, TEACHING, ASSESSMENT. COMPANION VOLUME WITH NEW DESCRIPTORS. 以下より入手可能

<https://rm.coe.int/cefr-companion-volume-with-new-descriptors-2018/1680787989>

投野由紀夫編 (2012). 『英語到達度指標 CEFR-J ガイドブック』 大修館書店.

付録

1. GTEC 問題概要・実施時間
2. GTEC 問題の特徴および問題構成

1. GTEC 問題概要・実施時間

◆GTEC 受検タイプについて

GTEC は CBT、Advanced、Basic、Core の 4 つの難易度でテストを提供している。学年による受検タイプの制限はないが、下記に受検に適した目安の時期を記載している。

中1	中2	中3	高1	高2	高3
					GTEC CBT
				GTEC Advanced	
		GTEC Basic			
GTEC Core					

◆各タイプの試験概要

今回の CEFR-J 関連付け調査で使用した、3 タイプの試験概要は下記の通りである。

	Core	Basic	Advanced
実施時間	Reading 32分 Listening 18分 Writing 20分 Speaking 25分 Total 95分 (32分+38分+25分 分割実施も可能)	Reading 45分 Listening 25分 Writing 20分 Speaking 25分※ Total 115分 (45分+45分+25分 分割実施も可能)	
上限スコア	新 Reading 210点 Listening 210点 Writing 210点 Speaking 210点 Total 840点	新 Reading 270点 Listening 270点 Writing 270点 Speaking 270点※ Total 1080点	新 Reading 320点 Listening 320点 Writing 320点 Speaking 320点※ Total 1280点
	現行 Reading 170点 Listening 170点 Writing 100点 Speaking 100点 Total 540点	現行 Reading 250点 Listening 250点 Writing 160点 Speaking 170点※ Total 830点	現行 Reading 320点 Listening 320点 Writing 170点 Speaking 170点※ Total 980点

http://www.benesse-gtec.com/fs/about/ab_outline

2. GTEC 問題の特徴および問題構成 (2018 年 11 月時点)

【リーディング】

	Core		Basic		Advanced	
テスト内容	設問数	時間(分)	設問数	時間(分)	設問数	時間(分)
A 語い・語法問題	10	5	12	6	14	7
B 情報検索・概要把握問題	10	12	12	14	14	14
C 要点理解問題	8	15	12	25	15	24
TOTAL	28	32	36	45	43	45

■出題例

Part A

Using Vocabulary in Context 短文文脈理解問題

この問題で測定する力

単文レベルの英文の中で、文脈的なつながりを理解し、かつ文法的に、また語い選択上最も適切な表現を正確に判断できる力

選択肢の単語を「知っている」だけでなく、文脈の中で「使える」かを問う出題です。

Students choose the best word to complete a sentence.



ここでは、それぞれの英文の空所 _____ に入る最も適当なものを、【A】～【D】の中から1つ選びなさい。

The computer system at school is working _____. We have to spend extra money to change the whole system.

- 【A】 fairly
- 【B】 steadily
- 【C】 poorly
- 【D】 reasonably

Part B

Skimming Information 概要把握問題

この問題で測定する力

与えられた英文の題材に対して、短時間で全体の概要を理解する力

英語の新聞や雑誌の記事を模した英文の概要を1題約1分で把握できるかを問う出題です。

Students read a short article in a minute.



本文と質問を読んで、答えとなる考えや情報を素早く探し、最も適当なものを【A】～【D】の中から1つ選びなさい。

The sundial is an ancient invention which could have originated in Egypt as far back as 3500 BC. Sundials use the position of the sun to tell what time it is. When sunlight hits the pole on a sundial, it creates a shadow on the disk. The location of the shadow tells you the time of day. This is like reading the hands of a watch. Throughout history, sundials have been adapted and improved by other cultures, such as the Greeks, Romans and Chinese.

What is this passage mainly about?

- 【A】 How to make watches.
- 【B】 The Greek man who created sundials.
- 【C】 How the sundial works.
- 【D】 The discovery of an Egyptian watch.

Part B

Scanning Information 情報検索問題

この問題で測定する力

与えられた英文の題材に対して、
短時間で必要な情報を引き出す力（情報検索力）

英語の広告や案内などを模
した題材から必要な情報を1
題約1分で探すことができる
かを問う出題です。

Students find key
information in authentic
materials in a minute.



You are looking at a shoe section of your Telephone Book.

1. Which of the following phone numbers can you call if you would like to have your shoes fixed?

- [A] 765-7700
[B] 765-9733
[C] 961-4451
[D] 992-5739

2. Which of the following shoe stores can you find in SuperMall?

- [A] Athlete's Feet and Paylittle Shoes.
[B] Foot Work and Capitol Shoes Inc.
[C] Easy Walker and Over-the-Top Trading Co.
[D] Natural Shoe Shops and Sharp Shoes Family Shoe Store.

288 Shoe Repair - Shopping Centers & Malls

YELLOW PAGES

◆ Shoe Repair

Dave's Shoe & Leather Repair
341 SuperMall 765-9926

Joe's Shoe Repair
7819 Northtown Ctr. 992-5739

Kenny's Shoe & Leather Repair
5234 W 84th St. 731-3757

Marydale Shoe Repair
637 W 38th St. 779-5844

◆ Shoe Shining

George's Shoe Shine
3500 90th St. N. 961-4451

◆ Shoes-Retail

Athlete's Feet
343 Garden St. 943-9733

Athletic Expression
7819 Southtown Ctr. 992-4761

Band's Shoe Store
186 Garden St. N. 858-8521

Capitol Shoes Inc
7807 Morgan Cir. 779-5890

Children's Footwear
8585 Lyndale Ave S. 779-8554

Easy Walker
154 SuperMall 765-9733

Famous Shoe
5123 90th St. W. 765-9676

Foot Work
312 SuperMall 765-9827

Kids Foot Work
174 SuperMall 765-8828

Lady Foot Work
232 Garden St. N. 765-9876

Natural Shoe Shops
288 SuperMall 765-9830

◆ Shoes-Retail - (Cont'd)

Naughton's Shoe Shop
4950 34th Ave. S. 613-1406

No Time to Shop
1244 Old Town Rd. 765-7700

Over-the-Top Trading Co.
126 SuperMall 765-9230

Paylittle Self Service Shoes
7815 Portland Ave. 779-1000

Paylittle Shoes
Northtown Ctr. 779-3215

Red Shoe Store
114 W 90th St. 992-8454

Sharp Shoes Family Shoe Store
7859 Northtown Ctr. 992-8454

◆ Shopping Centers & Malls

Countywide Center
7780 W Old Shakopee Rd. 765-9807

Ludhart's Plaza
555-8896
(See Advertisement on Page 181)

SuperMall
General Information
60 E Broadway 779-8000

Management Office
60 E Broadway 779-8010

100 779-8000

(CONTINUED ON PAGE 281)

Have you ever read
the first pages
of your Telephone Book?
You will find a lot of interesting
and helpful information there.

Have you ever read
the first pages
of your Telephone Book?
You will find a lot of interesting
and helpful information there.

Part C

Comprehending Passages Globally 要点理解問題

この問題で測定する力

まとまった量の英文に対して、英文の主旨に関する内容や詳細部分の
要点について、英文を理解し、必要な情報を読み取る力

出題テーマはフィクション、人
文系説明文、科学系説明文
の3題をバランスよく出題し
ています。各設問のポイント
となる問いを出題し、全体理
解の力を測ります。
※ Coreはフィクション系と説明文系の2
題の出題となります。

Students read articles
from various genres.



ここでは、英語の長文とそれらに関する質問があります。注意深く読み、質問の答えとして最も適当なものを【A】～【D】の中から1つ選びなさい。

For people with myopia, it is difficult to see things far away. Such people wear glasses to help them see. The number of children with myopia increases every year, but we don't know why it's happening.

There are some scientists who believe that myopia can be caused by sleeping with a light on during childhood. One team of scientists did research on children who had slept with the light on at night when they were younger than two years old. The scientists found that 55% of those children later developed myopia, while only 10% of children who slept in dark rooms at night developed myopia. Children's eyes grow very quickly until the age two, so it may be important for babies to sometimes be in the dark to develop healthy eyes and to avoid problems with vision as they get older.

But other scientists don't agree with this research. They say that the research results may have been affected by the fact that parents with myopia are more likely to use night lights to help them see. This is a key point because a child born to a parent with myopia is more likely to develop myopia in the future.

Until further research discovers the cause, it may be a good idea for parents to stop using night lights in their children's rooms.

What is this passage mainly about?

- [A] Why some children may be developing myopia.
[B] How scientists are treating babies with myopia.
[C] What problems are caused by myopia in adults.
[D] When people should sleep to avoid myopia.

【リスニング】

	Core		Basic		Advanced	
テスト内容	設問数	時間(分)	設問数	時間(分)	設問数	時間(分)
A 写真・イラスト説明問題	8	4	10	6	10	6
B 会話応答問題	8	4	10	5	10	5
C 課題解決問題	8	5	10	8	10	8
D 要点理解問題	8	5	10	6	10	6
TOTAL	32	18	40	25	40	25

■ 出題例

スクリプトの放送はいずれのパートも1回のみです。

Part A

Matching a Statement with a Picture

写真・図表・イラスト説明問題

この問題で測定する力

写真やイラストなど与えられた視覚的情報をもとに、ある状況や場面、事物を描写説明した単文レベルの英文を正しく聞き分ける力

キーワードを聞き取れるか、基本的なリスニング力が試されます。

Students listen for key words about a picture.



ここでは、イラストの内容を表す文として、【A】～【C】の3つの英文が読まれます。その中から、最も適当なものを1つ選びなさい。



スクリプト

- 【A】The man is looking up at the tree and telling the boy to climb down.
- 【B】The man is standing under the tree, helping the boy pick some fruit.
- 【C】The man is carrying the boy on his shoulders to get some flowers.

Part B

Choosing a Quick Response to a Question

会話応答問題

この問題で測定する力

事前予測ができる情報がない中で、会話的な不意の問いかけに対する適当な応答英文を素早く判断し、処理できる力

問題用紙には何も書かれていない状況から、質問文が流れてきます。「とっさの質問に素早く的確に対応する」という実際の会話に近い応答力が求められます。

Students choose the best response to a question they hear.



ここでは、質問の英文に続いて、【A】～【C】の3つの英文が読まれます。その中から、質問に対する答えとして、最も適当なものを1つ選びなさい。

スクリプト

- How many bags do you need?
- 【A】Just a small one, please.
 - 【B】You need to bring them back soon.
 - 【C】We sold so many bags last month.

Part C

Solving a Real-World Task

課題解決問題

この問題で測定する力

日本語で事前に与えられる状況設定および視覚的情報と音声情報から、その場面で求められている課題（タスク）を解決する力

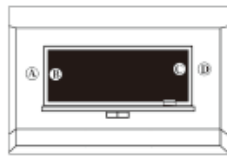
場面設定が「ホームステイ中」「海外から来た留学生とのやりとり」などに設定されています。英語で指示を与えられて行動するという実際の英語でのやりとりに近い感覚を体験できます。

Students do tasks in authentic situations.



ここでは、まず状況を説明する日本語が読めます。続いて英文が読まれるので、イラストを見ながら聞きなさい。あなたは、各場面の日本人学生になったつもりで、質問に対する答えとして最も適当なものを、【A】～【D】の中から1つ選びなさい。

カナダからの交換留学生が自分のホームタウンについてのスピーチの準備をしています。あなたは、その準備を手伝っているところです。彼の説明を聞きなさい。



スクリプト

Can you put these family photos and school photos on the wall to the right of the blackboard while I put the map on the wall?

1. あなたは学校の写真をどこへ貼るか。

- 【A】 ㉠
- 【B】 ㉡
- 【C】 ㉢
- 【D】 ㉣

スクリプト

Please put this CD I brought from Canada into the teacher's desk. Let's move the TV so that we can watch a video. Don't move any desks or chairs.

2. あなたは何を動かすか。

- 【A】 ㉠
- 【B】 ㉡
- 【C】 ㉢
- 【D】 ㉣

Part D

Finding Specific Information

要点理解問題

この問題で測定する力

一定以上の長さの音声英文の中から、事前に与えられた英文質問に答えるために必要な情報を選択して引き出し、求められている解答を導くための適切な判断を行う力

紛らわしい情報も多く、詳細の聞き取りが必要になります。

Students listen carefully for important details.



ここでは、英語の会話文や話が読めます。その内容に関する質問の答えとして最も適当なものを、【A】～【D】の中から1つ選びなさい。

スクリプト

A woman is talking to a clerk in a shoe store.

F: Do you have these black shoes in size 7? These shoes I tried on are a bit small.

M: I'm sorry, but we only have black ones in 5 or 6.

F: I see. If you have the brown ones in size 7, I'd like to try on those.

M: Sure. I'll be back soon.

F: female「女性」、M: male「男性」の略。

Which size of shoes will the woman try on?

- 【A】 Size 4.
- 【B】 Size 5.
- 【C】 Size 6.
- 【D】 Size 7.

【ライティング】

	Core		Basic		Advanced	
テスト内容	設問数	時間(分)	設問数	時間(分)	設問数	時間(分)
WRITING / 自由記述式	1	20	1	20	1	20

出題例

Advanced

Advancedでは、社会との接点を通して、個人の経験や他の事例をもとに自分の意見と理由を述べます。

あなたは授業中に、下記のテーマで英語のエッセーを提出することになりました。

エッセーのテーマ

若者の活字離れが問題となっていることについて、あなたはどのように思いますか。あなたの意見とその理由を書きなさい。

〈参考〉



Basic

Basicでは、日常生活と社会との接点を少し持たせつつ、個人の経験や他の事例をもとに自分の意見と理由を述べます。

あなたは授業中に、下記のテーマで英語のエッセーを提出することになりました。

エッセーのテーマ

高校生がアルバイトをすることについて、あなたはどのように思いますか。あなたの意見とその理由を書きなさい。

〈参考〉



Core

Coreでは、日常生活の中から、個人が経験したことをもとに自分の意見と理由を述べます。

あなたは授業中に英語でエッセーを提出することになりました。

エッセーのテーマ

あなたの宝物は何ですか。1つ取り上げて、なぜそう思うのか理由を書きなさい。

〈参考〉



【スピーキング】

出題例

Part A

音読 準備時間 各5秒
解答時間 各10秒

問題数 6問 | Reading Aloud

対話の応答文を読み上げる形式の出題で、状況や英文を理解したうえで、正確な発音で音読ができるかどうかを診断します。

Part A 出題画面イメージ

画面には、以下の内容が表示されます。

準備時間 5秒 / 解答時間 10秒

問題

A: What are you going to buy at the mall?

B: I really need some new shirts and pants. All my clothes are so old!

採点観点
発音 (0, 1, 2, 3, 4 の5段階)

Part B

質問を聞いて応答する 準備時間 各10秒
解答時間 各15秒

問題数 4問 | Listening and Responding

図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取ったうえで、適切に応答する力があるかどうかを診断します。

Part B 出題画面イメージ

画面には、以下の内容が表示されます。

準備時間 10秒 / 解答時間 15秒

問題

What are you going to do this Saturday?

You _____

右側のスケジュール表は、1つのイラストについて質問は2つあります。

	9:00	12:00	13:00-14:00	15:00	17:00
9:00					
12:00					
13:00			grandparents' house		
15:00					
17:00					

採点観点
Goal Achievement (質問に対して明確に応答できているかの観点で、Clear または Unclear の2段階評価)

Part C

ストーリーを英語で話す 準備時間 20秒
解答時間 60秒

問題数 1問 | Telling a Story

日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力を診断します。

Part C 出題画面イメージ

画面には、以下の内容が表示されます。

準備時間 20秒 / 解答時間 60秒

問題

右側に示された3コマのイラストA、B、Cのイラストに基づいて、ストーリーを説明してください。(準備時間20秒 / 解答時間60秒)

右側のイラストは、以下の内容を示しています。

1. A boy is looking at a clock. (準備時間10秒 / 解答時間15秒)

2. A boy is running. (準備時間10秒 / 解答時間15秒)

3. A boy is talking to a girl. (準備時間10秒 / 解答時間15秒)

右側のイラストは、以下の内容を示しています。

1. A boy is looking at a clock. (準備時間10秒 / 解答時間15秒)

2. A boy is running. (準備時間10秒 / 解答時間15秒)

3. A boy is talking to a girl. (準備時間10秒 / 解答時間15秒)

採点観点
Goal Achievement (1 コマめ～4 コマめのそれぞれの内容を明確に説明できているかの観点で、Clear または Unclear の2段階評価)。加えて、語い、文法、発音、流ちょうさの4観点 (各0, 1, 2, 3, 4 の5段階)

Part D

自分の意見を述べる 準備時間 60秒
解答時間 60秒

問題数 1問 | Expressing Your Opinion

身近で社会的なテーマに対して、自分の意見とその意見をサポートする理由が言えているかを診断します。

Part D 出題画面イメージ

画面には、以下の内容が表示されます。

準備時間 60秒 / 解答時間 60秒

問題

Some people think schools shouldn't allow students to use their cell phones while at school. What do you think about this? Give at least one reason to support your opinion.

採点観点
Goal Achievement (与えられたテーマに対して、「意見」「理由」を明確に説明できているかの観点で、Clear または Unclear の2段階評価)。加えて、語い、文法、発音、流ちょうさの4観点 (各0, 1, 2, 3, 4 の5段階)